

障害児福祉手当

対象者	在宅の重度障がい児で、日常生活活動が著しく制限され、介護を要する状態にある者に対して支給します。 ※所得が多い場合支給されないことがあります。
支給期間	20歳の誕生日の前月まで
支給金額	お問い合わせ下さい。

特別障害者手当

対象者	在宅の最重度障がい者で、常時特別の介護を要する状態にある者に対して支給します。 ※所得が多い場合支給されないことがあります。
支給期間	20歳以上
支給金額	お問い合わせ下さい。

冬の感染症にご注意! ~インフルエンザ・ノロウイルス・RSウイルス~

インフルエンザ

インフルエンザの流行のピークは1～2月です。インフルエンザの感染力は非常に強く、日本では毎年約10人に1人が感染しています。万が一、急に38度以上の発熱があり、咳やのどの痛み、全身の倦怠感を伴うなどインフルエンザが疑われる症状が出た場合には早めに医療機関を受診しましょう。

ノロウイルス

ノロウイルスによる感染症胃腸炎や食中毒は1年を通して発生しますが、特に11月～2月の冬期に流行します。また、食品からだけでなく、人から人へと感染することが特徴です。潜伏期間は24時間～48時間で、主症状は吐き気、嘔吐、下痢、腹痛であり、発熱は軽度です。通常これらの症状が1～2日続いた後、治癒した後遺症もありません。しかし、乳幼児や高齢者など抵抗力が弱い人の場合、重症化や死亡したケースもありますので十分注意してください。

RSウイルス

RSウイルスは秋口から冬場に流行する感染症です。おもな症状は、発熱や鼻水、重症化すると、喘鳴、呼吸困難などが現れます。乳幼児に多く発症し、生後数週間から数ヶ月の内に初感染すると肺炎などを併発し、重症化することもあるので注意が必要です。

感染を防ぐため

① 飛沫感染・接触感染を防ぎましょう

外出後の手洗いうがいは予防の基本です。アルコールを含んだ消毒液で手を消毒するのも効果があります。また、咳やくしゃみが出る時はマスクを着用し、感染拡大を防ぎましょう。病気の有無に関係なく、普段から咳やくしゃみが人にかからないように注意しましょう。

② 換気・湿度管理をしましょう

感染症予防のためには、室内の空気中に病原体を停滞させないように、こまめに窓を開けて換気を行うことも大切です。また、ウイルスは乾燥した空気を好むため、加湿器を利用するなどして、適度な湿度(40%以上)を保ちましょう。



③ 免疫力を高めましょう

免疫力が弱っていると感染しやすくなり、感染したときに症状が重くなってしまう恐れがあります。普段から十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておきましょう。

④ 予防接種を受けましょう

インフルエンザ予防にはワクチン接種も効果的です。発症する可能性を減らし、もし発症しても重い症状になるのを防ぎます。ワクチン接種による効果が出現するまでに2週間程度を要することから毎年12月中旬までに受けることが望ましいといわれています。ワクチンの効果が持続する期間は一般的に5か月程度です。

【お問い合わせ先】 役場保健福祉課 ☎77-3614

